

令和2年 第5回臨時会

令和2年第5回臨時会を8月7日に開催し、提出された専決処分事項の承認や補正予算など5件の議案を、原案どおり可決、承認しました。

令和2年第5回臨時会議案等

議案番号	件名	付託先	議決の結果
報告第10号	専決処分事項の報告について（公用車の交通事故に係る和解および損害賠償の額を定めるもの）	—	—
報告第11号	専決処分事項の報告について（公用車の交通事故に係る和解および損害賠償の額を定めるもの）	—	—
議第80号	専決処分事項の承認について（令和2年度天草市一般会計補正予算第7号）（7月3日からの豪雨に伴う災害復旧費として専決処分したため、議会の承認を求めるもの）	付託省略	承認
議第81号	工事請負契約の締結について（（都）今釜本渡港線橋梁（P2・P3橋脚）工事に係る請負契約の締結について、議会の議決を求めるもの）	付託省略	原案可決
議第82号	令和2年度天草市一般会計補正予算（第8号）	付託省略	原案可決

7月豪雨災害復旧費や新型コロナウイルス感染症に関する補正の主な内容

【議第80号】専決処分事項の承認について（令和2年度天草市一般会計補正予算第7号）

6億8,923万8千円を追加し、627億6,008万4千円に

7月3日からの豪雨に伴う災害見舞給付金、被災住宅応急修理事業などを増額。

【議第82号】令和2年度天草市一般会計補正予算（第8号）

8億634万8千円を追加し、635億6,643万2千円に

観光客誘客促進事業 5,752万円を増額

観光客の誘客を促進することで落ち込んだ観光関連産業を中心とした地域経済の活性化を図る。

質疑

問 現在、すでに行っているキャンペーンの状況と今回の補正の内訳は。今回構築する車両ナンバー解析システム事業の活用方法は。

答 本年6月からの「魅力再発見キャンペーン」、7月10日からの「天草満喫キャンペーン」は好調に推移しており、今回の補正は、「天草満喫キャンペーン」の増額や当初予定していた冬のキャンペーンとして活用。また、今回新たに車両ナンバー解析用のカメラを道の駅などに設置、車両の動向を調査し、今後の観光施策に活用したい。

中小企業・小規模事業者緊急支援事業 1億円を増額

新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げなどが減少している中小企業および個人事業者が行う3密を避けるための環境整備を支援する。

質疑

問 対象となる物品・機器など、どのような物が対象か。既に整備された方も対象となるのか。

答 対象となるのは、仕切り用のアクリル板やウイルス対策機能付空気清浄機、パーテーション、換気機能付エアコンなど。なお、緊急事態宣言が発令された本年4月7日以降に設置された事業者も対象となる。

補助額等：対象経費の8/10を補助
1施設当たり50万円を上限
(複数施設の場合は100万円を上限)
◀QRコードで制度の詳細が確認できます。



賛否表

議第82号 令和2年度天草市一般会計補正予算（第8号）

議員名	新風天草			天政会			市民クラブ			政友会		日本共産党		公明党		無会派		表決数	結果									
	中尾友二	田中茂	古賀源一郎	濱洲大心	前田正之	門口徹	中村三千人	脇島義純	池田裕之	勝木幸生	鶴戸継啓	大塚基生	益田政昭	下田昇一郎	五嶋善彦	澤井一富	平山泰司			船辺修	柴田良正	蓮池義昭	赤木武男	五通俊作	浜崎昭臣	若山敬介	宮下幸一郎	
議第82号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	23:2	原案可決

※電子表決システムによる採決により賛否が分かれたものに限ります。（○は賛成、×は反対） ※浜崎昭臣議員は議長職のため、表決には加わりません。

生活困窮者自立支援事業 3,449万円

生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給、その他の支援を行う。

質疑

問 支援を行う中で自立される方と生活保護に移行される方の数は。

答 令和元年度は、相談受付件数が242件あり、プラン終結数33件のうち、生活保護移行件数は6件。本事業の効果もあり、生活保護受給者も平成30年度から減少に転じている。



納税組合事務費 308万円



市税の容易かつ確実な納付により収納率の向上を図る。

質疑

問 納税組合の段階的な縮小の考えについて。

答 プライバシーの問題や、組合長のなり手不足の点から制度の廃止を検討すべき時期にきている。令和2年度中に、組合長に対し本市の計画を伝えた上で、ご意見をいただきながら、事業の廃止に向けて準備をしていく。

令和元年度国民健康保険特別会計 特定健康診査等事業費 8,694万円

特定健康診査を行い、生活習慣を改善するための特定保健指導を行う。

質疑

問 特定健康診査未受診者への勧奨や、かかりつけ医での検査などを、特定健診扱いとするよう医療機関に協力依頼をすべきでは。

答 受診率向上対策として、40歳到達者の受診費無料化、電話による受診勧奨や通知を行い、受診率が上昇した。

個別受診として、かかりつけ医で受診できるよう各医療機関へもご協力をお願いしている。

観光施設整備事業 5,940万円

観光拠点施設やトイレの整備により、天草観光の周遊性を高め、利便性の向上や施設機能の保全を図る。

質疑

問 観光施設の全体的な見直しやあり方、今後の計画について。

答 観光施設は、合併前に整備された施設が多く、老朽化が進み、維持管理に多額の費用を要している。市の観光アクションプランに沿って整備や改修を行っているが、今後もスクラップアンドビルドの観点から、機能統合や廃止など、施設のあり方について検討していく。

地域おこし協力隊 活動推進事業 3,845万円

人口減少、少子・高齢化が進む中、地域おこし協力隊の制度を活用して「地域協力活動」を通じた地域の活力の維持および強化を図る。

質疑

問 満期を迎えた隊員の今後の就業予定や定住および市民への活動状況の周知について。

答 本年9月に任期を終えた隊員は、柑橘農家として夫婦で本市に定住されている。ほかの隊員も起業や市内企業への就職など、今後も本市に定住の予定。活動状況は広報紙やみっばちラジオで周知している。



廃食用油変換装置 管理事業 112万円

環境都市としての本市のイメージアップと市民の環境意識向上を図る。

質疑

問 本渡地区以外の給食センターや家庭用の廃食用油の回収拡大はしないのか。

答 本事業は本渡地区清掃センター内にて、バイオディーゼル燃料を精製。本渡地区以外の清掃センターで収集した廃食用油は石炭の代用燃料として売却している。この装置は平成14年度に使用を開始し、老朽化も進んでいるため、拡大予定はない。

